



大 槌 コ ミ ュ ニ テ ィ 通 信

【郷土芸能鑑賞・交流の場 ～松の下町営住宅自治会～】

新型コロナウイルス感染症の影響により、交流活動の中止を余儀なくされている末広町町営住宅(通称:松の下町営住宅)において、住民同士の交流を促進し、地域活性化を図るため、自治会と県復興局が連携を取り、郷土芸能の催しを企画・開催しました。

今年は毎年恒例の大槌まつりが中止となりましたが、当日は鹿子踊、虎舞、神楽等が舞を披露し、松の下はにぎやかな雰囲気になりました。参加した住民の皆さんは、笛や太鼓のお囃子に合わせて手を叩きながら、まつりの気分を嬉しそうに味わっていました。

松の下町営住宅自治会では、新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら、住民同士の交流活動を再開していきたいと話しています。



【一人暮らし高齢者訪問 ～桜木町自治会～】

独居高齢者の見守りを地域で支えようと、桜木町自治会では独自の訪問活動を実施しました。

対象者は、桜木町在住の75歳以上で、一人暮らしの住民28人。おはぎを配りながら「お元気ですか?」「変わりはないですか?」「困ったことがあったら言ってくださいね。」と一人一人に優しく声をかけながら訪問を行いました。

桜木町自治会の佐々木 幸夫会長は、「桜木町に住むお年寄りの孤立を防止するため、この活動を今までに年2回実施してきました。少子高齢化が進む中、見守りは重要な取組となります。これからも地域のつながりを活かし、活動を続けていきたいです。」と話しています。

このように住民同士が支え合う地域活動は、これからのまちづくりにとって必要な取組です!

